



# ブラケット PJ-22型

# 取付説明書



施説No. HH8VLA18SC-S3A

- お願い** 施工時、ご使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。
- お客様へ** 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。
- 工事店様へ** 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。  
上手に使うって上手に節電



## 安全上のご注意

必ずお守りください


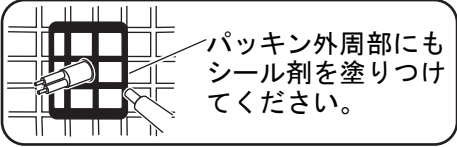

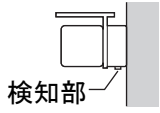

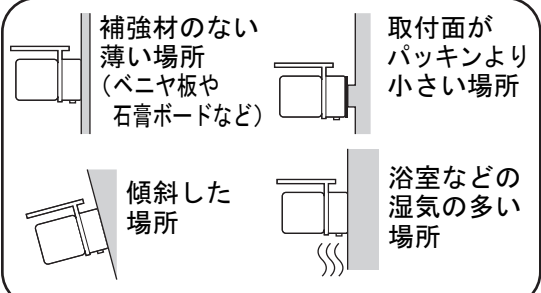
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。  
■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

-  **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
-  **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

-  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 器具の取り付けは、説明書に従い 確実に 取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</li> <li>■ 交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。</li> <li>■ タイル面など取り付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋める 本体パッキンと取り付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。  パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。</li> <li>● 防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。</li> <li>■ 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む 差し込みが不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。</li> </ul>	 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に 接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。</li> <li>■ 検知部が下になるように取り付ける 守らないと浸水による感電のおそれがあります。  検知部</li> </ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 次のような場所には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。  補強材のない薄い場所 (ベニヤ板や石膏ボードなど)    取付面がパッキンより小さい場所 傾斜した場所    浴室などの湿気が多い場所</li> <li>● この器具は壁面取付専用防雨型です。(防湿型ではありません。)</li> </ul>		

## ⚠ 注意


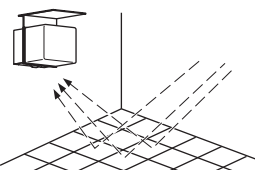

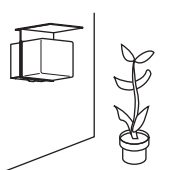

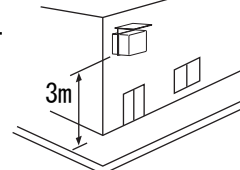

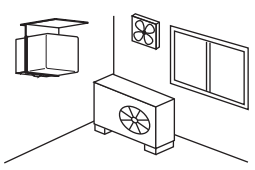





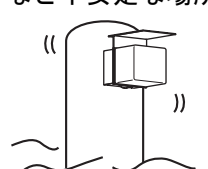

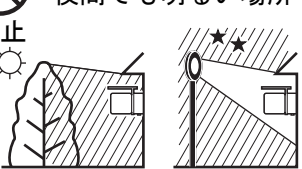
 禁止	<p>■ 温度の高くなるものの上に取り付け ない 火災の原因となることがあります。 ● ガス機器や排気筒の上に取り付けないで ください。</p>	 禁止	<p>■ 他の調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合 わせて使用すると、火災の原因となることが あります。 ● 調光器の取り外しが必要です。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 施工前にお読みください

### 設置場所についてのご注意

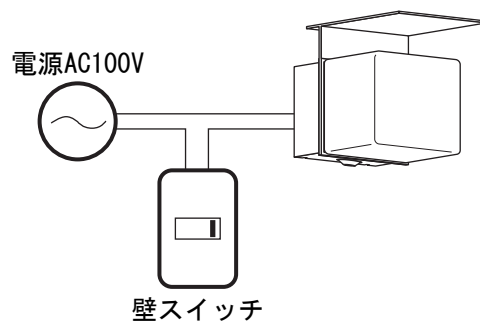
● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

<p> 禁止</p> <p>大理石など反射の強い床面のある場所</p> 	<p> 禁止</p> <p>風などでよくゆれる植物の近くなど</p> 	<p> 禁止</p> <p>取付高さが3mを超える場所</p> 	<p> 禁止</p> <p>エアコンの吹き出し口、換気扇の近く</p> 
<p> 禁止</p> <p>交通量の多い道路に面した場所</p> 	<p> 禁止</p> <p>前面に障害物のある場所 (透明なガラスも含む)</p> 	<p> 禁止</p> <p>振動の激しいポールなど不安定な場所</p> 	<p> 禁止</p> <p>昼間でも暗い所や夜間でも明るい場所</p> 

### 配線についてのご注意

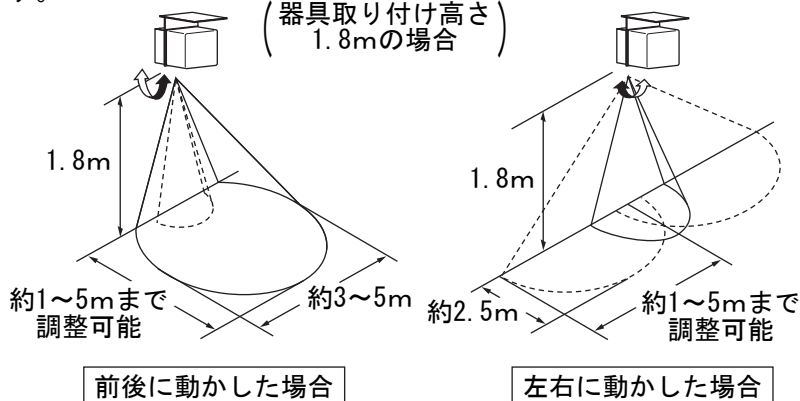
- 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)
- 壁スイッチを設けないと・・・
  - ・ 点灯に異常が発生したときに、リセットできません。
  - ・ 連続点灯(取扱説明書4ページ参照)への切り替え操作ができません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)
- 壁スイッチはセンサ器具1台につき1個で使用してください。  
1個のスイッチに2台以上のセンサ器具を接続すると、連続点灯への切り替え操作の際に、すべての器具が同時に切り替わらないことがあります。



### センサの検知範囲

- センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)
- 器具の取り付け高さ1.8m(標準)～3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安  
(器具取り付け高さ  
1.8mの場合)



#### ご注意

- ・ この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物・自動車など人以外の動きも検知して点灯する場合があります。
- ・ 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・ センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。
- ・ 静止している人は検知しません。

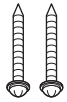
### 調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

# 付属部品の確認

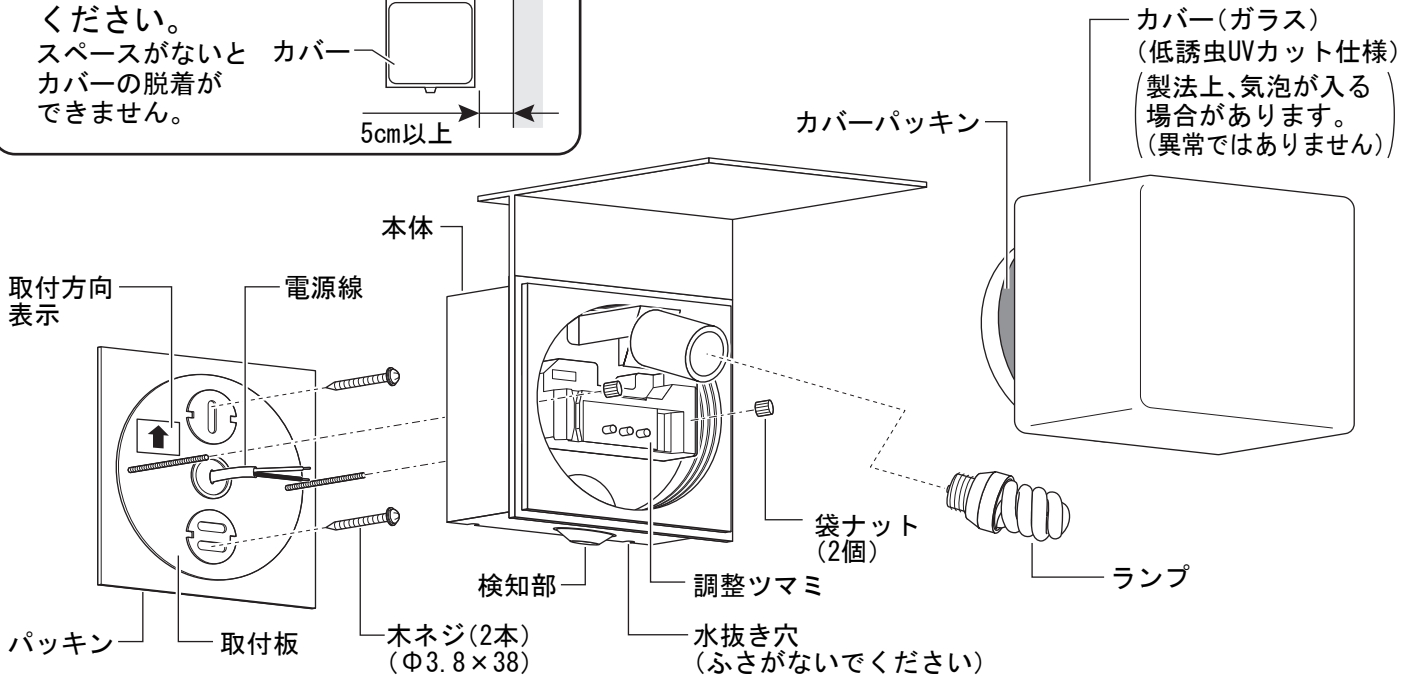
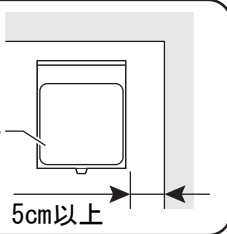
施工する前にまず付属部品をご確認ください

□木ネジ  
(2本)



## 各部のなまえ

■壁面から5cm以上  
離して取り付け  
てください。  
スペースがないと  
カバーの脱着が  
できません。

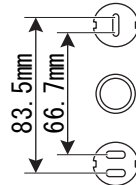


## 照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

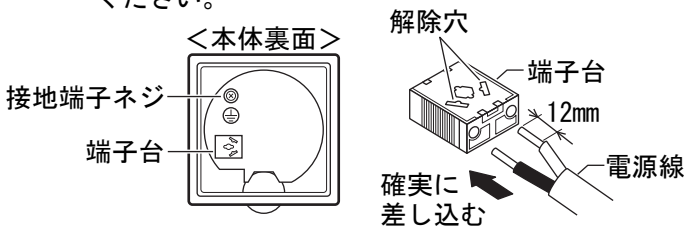
### 1 木ネジ(2本)で取付板を取り付ける

- ・取付方向表示に従って取り付け  
てください。
- ・取付ピッチ: 66.7mm、83.5mm



### 2 端子台に電源線を接続する

- ・適合電線 VVF φ1.6、φ2.0単線
- ・接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行っ  
てください。



器具の取り替え等で電源線を外す場合は、  
マイナスドライバー等を解除穴に差し込  
みながら電源線を引き抜く。

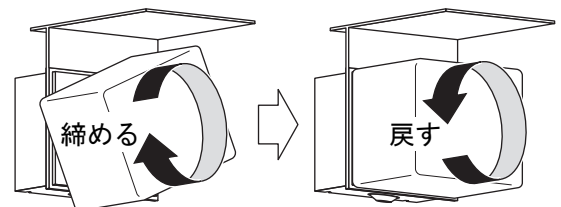
### 4 ソケットにランプを取り付ける

### 5 検知範囲と調整ツマミを設定する (次ページ参照)

- ・カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

### 6 カバーを取り付ける

- ・カバーにカバーパッキンが取り付けられていることを  
確かめ、確実に締め付けてください。
- ・カバーを最後まで締め付けた後、本体に合わせて  
少し戻してください。(90度以内)



### 3 袋ナット(2個)で本体を取り付ける

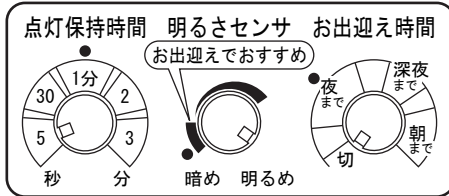
設定の前に

- ①壁スイッチをOFFにする
- ②カバーを取り外す

## 1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

[手順]

- ①あらかじめ、調整つまみを以下の設定にする



- 点灯保持時間 —— 「5秒」(左いっぱいに戻す)
- 明るさセンサ —— 「明るめ」(右いっぱいに戻す)
- お出迎え時間 —— 「切」(左いっぱいに戻す)

- ②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- ・検知部は、全方向に約20度動きます。
- ・センサの検知範囲は、➡2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

- ③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

⇒約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

- ・お出迎え時間が「切」になっていない ⇒ お出迎え時間が「切」にする
- ・センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
- ・連続点灯になっている (検知部が赤く光ったまま) ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、10秒以上おいて再び壁スイッチをONにする

- ④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

## 2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整つまみを設定する

以下の2種類の使いかたができます。(詳しくは ➡取扱説明書4ページをご参照ください。)

使いかた	お出迎えモード	ON/OFFモード
動作	暗くなったら点灯、設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯
おすすめの つまみ設定		
詳しい 設定方法	➡取扱説明書 5ページ	➡取扱説明書 6ページ

・昼間でも暗い場所では、お出迎えモードが正しく動作しないことがあります。

## 3 カバーを取り付ける

➡3ページ「照明器具を取り付ける」参照

## 4 壁スイッチをONにする

⇒壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

**ご注意** ●お出迎えモードに設定した場合  
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した  
「お出迎え時間」つまみの位置に関係なく  
お出迎え点灯は約4時間で終了します。  
翌日より設定した時刻通り終了します。

取説コード

Z345

200802A\_1009